

各 位

株式会社 愛媛銀行

地域密着型金融推進計画について

当行は、これまで 4 年間にわたり『リレーションシップバンキングの機能強化計画(平成 15 年度～平成 16 年度)』、『地域密着型金融推進計画(平成 17 年度～平成 18 年度)』を策定し、取組んでまいりました。今般、これまでの取組みの成果を踏まえ、地域金融機関として地域経済へのより一層の貢献と地域密着型金融のビジネスモデルの確立・深化を目的として「地域密着型金融推進計画(平成 19 年度～平成 20 年度)」を策定いたしました。

当行では、従来中期経営計画をもとに地域密着型金融を推進してきたことから、今回の計画期間は現在推進中の「第 12 次中期経営計画」と合わせ平成 21 年 3 月末までとしました。今後も引き続き、中期経営計画の中で地域密着型金融を恒久的な枠組みで推進してまいります。

記

1. 基本方針

1. 当行は「ふるさとの発展に役立つ銀行」「たくましく発展する銀行」「働きがいのある銀行」の経営理念のもと、地域密着型金融を推進することで、お客様との永続的な関係を構築し、地域の発展に貢献してまいります。
2. 産学官連携を更に強化し、当行の情報ネットワークを活かすことで、継続的に地域経済の活性化が図れるよう努めてまいります。
3. お客様の高度化・多様化するニーズに的確かつ迅速に対応することで、お客様満足度の高い金融サービス・商品の提供を目指してまいります。

2. 具体的な取組み（平成 19 年度～平成 20 年度）

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

(1) 創業・新事業支援機能の強化

- ①創業・新事業支援に係る制度融資の活用
- ②(財) えひめ産業振興財団と連携したベンチャー支援(年 2 回「愛媛銀行賞」を提供)
- ③ノウハウ蓄積を目的に農林漁業金融公庫等との人材交流を実施
- ④「えひめガイヤファンド」を活用した第一次産業の支援

(2) 健全化に向けた経営改善支援の強化

- ①経営相談業務(経営診断、事業分析、企業の問題点・課題の抽出、経営改善計画策定のサポート)の強化
- ②経営改善コンサルティング(事業・財務・業務リストラ支援、経営体質改善支援、再建計画策定支援)を積極的に実施

(3) 事業再生に向けた積極的な取組み

- ①各種研修へ参加することで事業再生能力の向上を図り、多様な事業手法を一層活用
- ②外部専門家等のノウハウ・人材活用による早期再生と再生後の持続可能性ある事業再構築

(4) 事業承継問題の解消に向けた取組み強化

- ①事業承継の計画立案や実行支援
- ②M&Aの活用による支援

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

(1) 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の徹底

- ①「目利き能力強化研修」やセミナー講習への参加、中小企業診断士養成講座の毎年開講による「目利き能力」の向上
- ②法人会・税理士会・TKC等との連携強化、「ひめぎんTKC戦略経営者ローン」及び「ひめぎん法人会・税理士会コラボレーションローン」の活用
- ③スコアリングモデル等を活用した無担保・第三者保証人不要融資の活用及び商品開発

(2) 中小企業に適した資金供給手法の徹底

- ①ノンリコースローンやシンジケートローンの適宜導入を検討
- ②ABL（動産担保融資）、コベナンツ（財務制限条項活用融資）、知的財産担保融資の検討及び債権証券化・流動化の活用
- ③CLO（ローン担保証券）融資、私募債の活用

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

(1) 地域の面的再生

- ①ビジネスマッチング支援の強化
- ②M&Aによる地域間提携・連携の取組み

(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供

- ①PFI事業の推進
- ②行内体験学習や出前授業の積極的な実施
- ③地域経済・社会・文化の振興に繋がる支援活動の実施（CSR活動）
- ④愛媛大学・弓削商船高等専門学校のシーズ（技術提供）と取引先企業のニーズのマッチング支援
- ⑤NPO法人への支援
- ⑥利用者側の声を把握するための調査を年1回実施し、結果をとりまとめ公表

3. 取組み状況・実績の公表について

公表時期	公表方法
本決算発表時(毎年5月)	ホームページ、ディスクロージャー誌

以上